

浜嶋です。

おはようございます。

今年もインフルエンザの流行が始まりますね。ピークは2月です。

インフルエンザにかかったとわかると、病院では、学校や職場に出ることを禁止します。

「風邪は社会の迷惑です」と古くから言われます。

ボーイスカウトの活動においても、2つの観点から対策を講じることを考えてみましょう。

1. 家庭での判断

風邪やインフルエンザにかかった場合、早期に治療や安静に心がけ、悪くならないように努めることが重要です。お子さんは元気な状態では活動したいと思うはずですが、我慢して早く治すようにすべきです。また、インフルエンザは感染することで周りの人に迷惑が掛かります。スカウトでも、保護者でも、指導者でも困りますね。

迷惑が掛からないような配慮も大切です。

2. 隊、団での対応

活動の場では、スカウトや指導者の健康チェックが重要です。スキー訓練の時は、朝礼の後で健康チェックを必ず行います。舎営では健康管理表を作成して、各自の把握と隊のチェックを行います。

同様に団行事や隊集会においても健康チェックをすることと、スカウトの観察が重要です。開会時や活動時に継続して観察して、調子が悪そうだったら確認し、適切な対応を行うべきです。

3. 冬季の活動では特に注意深い対応をお願いします

インフルエンザは、1月～3月までに流行します。隊集会や会議で屋内で活動する場合もあります。スキーも舎営になります。指導者は全員で注意をお願いします。スカウトについては、調子が悪いと思ったらすぐにリーダーに連絡することを言い含めてください。

4. 感染を防ぐ方法

電車など密集状態の場にいると感染率は高くなります。くしゃみをする時3m四方まで飛沫感染の可能性があります。マスクは感染を防ぐためにも必要ですね。電車の中でマスクをしている人が増えています。日頃から注意することが大切です。

また、インフルエンザは、家庭ではどうしても家族に感染してしまうようです。ドアのノブやテーブル、誰でも触ってしまうものから感染するそうです。手をこまめに洗うとウイルスが流されて感染率が低下します。

まずは、うがいと手洗いを頻繁にするようにすると感染防止になりますね。

このような考え方を理解して、行動方針を共有し、全員で遠慮せずに注意をシェア体制にしましょう。

そして、健康な状態で大いに楽しく活動をしましょう。